天気の変化（小学5年・理科）

（　　）小学校（　）年（　）組
氏名（　　）

県内に「春一番」昨年より12日遅く

鹿児島地方気象台は3日、九州南部と奄美地方に「春一番」が吹いたと発表した。鹿児島市東郡元町で今年最高の24・3度を観測するなど県内各地の最高気温は4月中旬～6月上旬並みとなった。各地で強い風が吹き、同市与次郎1丁目の緑地では、赤いツバキの花が数多く地面に落ちていた。

朝方の激しい風雨などで落ちたツバキの花が目立つ緑地＝3日午後、鹿児島市与次郎1丁目

12地点で今年最高気温

「春一番」は、立春（2月3日）から春分（3月20日）の間に初めて吹く暖かい南寄りの強い風。「春の嵐」とも呼ばれる。最大風速8㍍以上、気温の上昇などの目安があり、観測されない年もある。今年は昨年より12日遅かった。

気象台によると、3日は日本海の低気圧が東に進み、九州南部・奄美地方に暖かい風が流れ込んだ。県内33地点のうち12地点で最高気温が今年最高となった。県内の最高気温は5日まで平年より高く、6～10日は平年並みか平年より低くなる見込み。

2025年3月4日付18面

【問1】九州南部と奄美地方に「春一番」が吹いたと発表されたのは、いつでしょう。

【問2】発表したのは、どこでしょう。

【問3】問1の日の鹿児島県内各地の最高気温は、いつ頃並みだったのでしょう。

【問4】鹿児島市与次郎1丁目の緑地では、風雨により何が地面に落ちていたのでしょう。

【考えてみよう】「春一番」について，調べよう。

むずかしい漢字とことば

奄美（あま・み）　吹（ふ）いた　中旬（ちゅう・じゅん）＝月の11日から20日までの10日間。　上旬（じょう・じゅん）＝月の1日から10日まで。　与次郎（よ・じ・ろう）　暖（あたた）かい　嵐（あらし）　呼（よ）ばれる　上昇（じょう・しょう）　遅（おそ）かった　流（なが）れ込（こ）んだ　並（な）み

©南日本新聞社　教育目的以外の無断転載　複製および頒布は禁止します

南日本新聞社